

式 辞

本日ここに、戦没者ご遺族をはじめ ご来賓各位のご参列のもと、安芸太田町戦没者追悼・平和祈念式典を執り行うにあたり、戦争により犠牲になられたすべての御霊に対し、安芸太田町を代表して、謹んで哀悼の誠を捧げます。

今日、私たちが享受している平和と繁栄は、戦争によって命を奪われた方々の尊い犠牲と、戦後の国民のたゆまぬ努力の上に築かれたものです。肉親を亡くされ、深い悲しみを抱えながら戦後の苦難に耐え、家族を支えてこられたご遺族の皆様方の努力に対し、心から敬意を表しますとともに、この戦争の惨禍を教訓として、風化させることなく後世に語り継ぎ、平和の尊さを伝えていただいた諸先輩方の取り組みにも、心から感謝を申し上げます。

その戦争から79年経った今日、未だに世界から戦争はなくなっていない。2年半前に始まったロシアによるウクライナ侵攻は、未だに終息の見通しが立っておらず、イスラエル・中東情勢もまた混迷の度合いを深めています。

他方、一昨年度の広島サミットを契機として、昨年度、世界各地から平和祈念資料館を訪れた方々は約198万人と過去最多に達しました。

かつてないほど平和への意識が高まっている今こそ、戦争のない世界、核兵器のない世界の実現に向けて行動を起こすときです。

為政者の果たす役割は大きなものがある一方で、平和構築の土台となる信頼の醸成には、音楽や美術、スポーツなどを通じた、市民・町民間の交流こそが大きな役割を果たします。

本町も小さな取り組みではありますが、国際音楽祭の開催やインバウンド交流の促進など、他者との共感を深める場を増やすことで、世界の恒久平和実現へ寄与することを心から願うとともに、すべての町民が安心し、心豊かな生活を送ることのできる住みよい町を目指し、真の平和の実現に向けて、皆様とともにより一層の努力をしてまいり所存です。

結びに、戦没者すべての御霊の安らかなご冥福と、世界の平和と繁栄を願い、併せて本日ここにご参列いただきました皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げまして、式辞といたします。

令和6年8月15日

安芸太田町長 橋本 博明